

3年 道徳の年間指導計画例 (2020年休校措置対応)

- ・年間35時間に配当された教材のうち、6教材を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」としています。
- ・「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」として、教科書内で同一内容項目について、2教材以上用意しているもののうち1教材を挙げました。ただし、教科書の構成上、特別の指導意図があるものについては、2教材以上用意している内容項目の教材であっても、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に含めていません。
- ・「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に該当する教材の欄は、水色 にしています。
- ・「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」は、赤字で示しています。
- ・各学校の状況によって、年度当初に予定していた学習内容の指導を、本年度中に終えることが困難な場合に、学校における学習活動を重点化する際の参考資料としてご活用ください。
- そのうえでなお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、年度内に全ての内容項目を取り上げることを念頭に、次年度に送る等の対応も考えられます。
- 各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。なお、次年度に送る場合には担当教員間の引継ぎにご配慮ください。

月	教材名【主題名】 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 友だち屋 〔友だちになる〕 【主】B 友情、信頼 【関連】C 公正、公平、社会正義	◎お互いを理解し大切にすることをもち、よりよい友人関係を育てる。 【理解、判断力】 本当の友達とは、互いに相手を思いやれる対等な関係であることが分かる。 【心情】 対等な友達関係によさを感じる。 【実践意欲と態度】 相手の気持ちを大切に、よりよい友人関係を育てようとする。	1 友達について考える。 2 「友だち屋」を読んで、本当の友達について考える。 3 友達の作り方についての考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「友だち屋」を読んで、本当の友達について考えさせる。 ○特別活動 ・友達に、どうして友達になれたのか、インタビューさせる。 ○読書活動 ・「友だち屋」シリーズや友情についての本を読んで、互いに紹介させる。 ○他教科(体育など) ・共同学習や体育科でのチームスポーツで協力して助け合わせる活動をさせる。
4月	2. 電話のおじぎ 〔心をこめて〕 【主】B 礼儀 【関連】B 親切、思いやり	◎礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接し、お互いに気持ちよく生活しようとする。 【理解、判断力】 真心の意味について知る。 【理解、判断力】 形や心がそろった礼儀こそ、相手に通じるものであることが分かる。 【心情】 礼儀正しい人の態度によさを感じる。 【実践意欲と態度】 だれに対しても心を込めてあいさつをし、気持ちよく生活しようとする。	1 礼儀とはどのようなものか考える。 2 「電話のおじぎ」を読んで、礼儀の大切さについて考える。 3 どのようなあいさつをすると相手に伝わるのか考える。	○道徳の授業 ・「電話のおじぎ」を読んで、礼儀の大切さについて話し合わせる。 ○家庭 ・人との接し方に関して家族と連携させる。 ・見える礼儀と見えない礼儀を探して、それぞれどんなよさがあるか、家庭内で話し合わせる。 ○特別活動 ・話し合いや自分で見つけた見える礼儀・見えない礼儀について、ポスターや新聞にまとめる活動を行わせる。 ・「あいさつの励行」に関する標語やポスターづくりを行わせる。
4月	3. ドンマイ! ドンマイ! 〔なかまの気持ち〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】B 友情、信頼	◎人には、相手の思いを理解すると、失敗を認め、許そうとする心があることを自覚し、よりよい関係を築いていこうとする。 【理解、判断力】 相手が共通の目標に向かい、懸命に取り組もうとする心をもっていることが理解できると、失敗しても許そうという心がわいてくるのが分かる。 【理解、判断力】 相手の思いを理解すると、失敗を認め、許そうとする心は自分にもあることが分かる。 【心情】 相手の失敗を許し、理解し合える関係に感動する。 【実践意欲と態度】 互いの思いが理解し合える、よりよい関係を築いていこうとする。	1 「ドンマイ」という言葉の意味について話し合う。 2 「ドンマイ! ドンマイ!」を読んで、相手のことを理解する大切さについて話し合う。 3 「ドンマイ」という言葉の力について話し合う。	○道徳の授業 ・「ドンマイ! ドンマイ!」を読んで、相手のことを理解する大切さについて話し合う。 ○学級活動 ・相手の気持ちが理解できたら失敗も許そうという心が、自分たちにもあるか探させ、発表させる。
5月	4. 千ばづる 〔しょうじきな心〕 【主】A 正直、誠実 【関連】B 親切、思いやり	◎自分の心に正直に、真心をもって明るい心で生活しようとする。 【理解、判断力】 真心をもって正直に行動すれば、心は晴れ晴れとして明るくなることや、自分にも真心があることに気づく。 【心情】 正直な心をもった人の行動や思いに、感動する。 【実践意欲と態度】 自分の心に正直に行動しようとする意欲をもつ。	1 正直な姿とはどのような姿か考える。 2 「千ばづる」を読んで、正直のよさについて考える。 3 正直に過ごすことのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「千ばづる」を読んで、正直に生活することのよさについて話し合わせる。 ○日常生活 ・正直に生活することのよさについて家庭で話し合うよう促す。 ・係活動や清掃活動などで、正直に明るい心で振る舞う友達の姿を探させ、カードに書き留めさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・正直に明るい心で振る舞っている友達の姿を具体的に発表し合わせる。 ・日常生活で書き留めたカードを配布する。
5月	5. 目をさますたね 〔しょうぶのふしぎ〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 感動、畏敬の念	◎植物の不思議さを感じ取り、身の回りの植物を大切にしようとする。 【理解、判断力】 植物には、不思議な力があることが分かる。 【心情】 植物のもつ不思議さに心が動く。 【実践意欲と態度】 身の回りの植物を大切にしようとする。	1 植物の不思議さについて、話し合う。 2 「目をさますたね」を読んで、植物の不思議さについて話し合う。 3 校内の植物を見に行き、植物の様子を観察して、植物の気持ちを考える。	○道徳の授業 ・「目をさますたね」を読んで、植物の不思議さについて話し合わせる。 ○理科 ・ヒマワリやハウセンカなどを大切に育て、愛情をもって観察させる。 ○読書活動 ・植物に関する本を読み、植物の不思議さについて調べさせる。 ○日常生活 ・身の回りの植物に愛情をもって接するよう促す。
5月	6. 清作のおてつだい 〔自分のできること〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎「家族を思う心」を大切にしながら、家族のため自分のできることをしようとする。 【理解、判断力】 「家族を思う心」が、「人を思う心」のもとになっていることが分かる。 【心情】 「家族を思う心」が、よりよい未来につながることに感動する。 【実践意欲と態度】 自分の中にある「家族を思う心」を大切に、自分のできることをしようとする。	1 家族のために「自分のできること」を考える。 2 「清作のおてつだい」を読んで、野口清作少年の「家族を思う心」について話し合う。 3 自分のできる、家族が喜ぶことを考える。	○学級活動 ・家族のために自分がしていることを振り返り、まとめさせる。 ・まとめたものを友達と紹介し合い、そのよさを認め合わせる。 ○道徳の授業 ・「清作のおてつだい」を読んで、野口清作少年の「家族を思う心」について考えさせる。 ○日常生活 ・「家族を思う心」を使って自分が家族のためにできることを計画、実践させ、感想をまとめさせる。 ○学級活動 ・家族のために実践した感想を友達と紹介し合わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
5月	7. 心の優先席 〔きまりを生むもの〕 【主】C 規則の尊重 【関連】B 親切、思いやり	◎約束や社会のきまりの意義を理解し、それを守ろうとする。 【理解、判断力】 約束や社会のきまりは、人が安心して暮らしたいという心が形になったものであることが分かる。 【心情】 約束や社会のきまりをみんなが大切にしていることが分かり、りっぱだなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 約束や社会のきまりの意義を理解し、しっかり守っていかうとする。	1 「全席優先席」というきまりを紹介し、優先席は何のためにあるきまりかという問題意識をもつ。 2 「心の優先席」を読んで、きまりを守ることのよさを考える。 3 みんなが気持ちよく過ごすためのきまりと、それを守ろうとすることのよさについてまとめる。	○学級活動など ・ 普段の生活や学級活動などで、自分たちの身近にある規則やきまりについて意識させる。 ○道徳の授業 ・ 「心の優先席」を読んで、きまりを守ることのよさを考えさせる。 ○学級活動 ・ 約束やきまりについて調べさせ、どのような心が形になっているのか紹介させる。 ・ きまりを守っている人を紹介し合わせる。
6月	8. はた・らく 〔すすんではたらく〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎周りの人のことを考えて働くこと感謝され、自分もうれしい気持ちになることが分かり、進んでみんなのために働くうとする。 【理解、判断力】 人のために働くことの意味や価値が分かる。 【心情】 みんなのために働くことよさをを感じる。 【実践意欲と態度】 みんなのために進んで働くうとする。	1 主題名から内容を想起する。 2 「はた・らく」を読んで、働くことよさを考える。 3 進んで働くこととそれを支える意識についてまとめる。	○特別活動・日常生活 ・ 普段の生活や学級活動などで、公共のためにできることを意識させる。 ・ また、身近にそのような働いている人はいないか意識させる。 ○道徳の授業 ・ 「はた・らく」を読んで、「すすんではたらく」ことにより、周りの人の喜びが自分の力や喜びになることを理解し、そのよさを感じ、自ら取り組ませる。 ○学級活動 ・ 自分から進んで働いている人を身近から探し、発表させる。
6月	9. わたしのしたこと 〔親切とおせっかい〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎親切とおせっかいの違いに気づき、相手の立場や気持ちを考え、進んで親切にしようとする。 【理解、判断力】 親切は時と場合によって、おせっかいにもなることが分かる。 【心情】 相手のことを考えた親切な行動を、すばらしいと感じる。 【実践意欲と態度】 相手の立場や気持ちをよく考えるように心がけ、進んで親切にしようとする。	1 「親切」と「おせっかい」の違いを話し合う。 2 「わたしのしたこと」を読んで、「親切」と「おせっかい」の違いについて考える。 3 「親切」と「おせっかい」の違いをまとめ、これからの生活にどう生かしていくか考える。	○道徳の授業 ・ 「わたしのしたこと」を読んで、「親切」と「おせっかい」の違いについて話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会 ・ 友達が本当に喜ぶ「親切」のできている人を探して発表させる。 ○読書活動 ・ 読み聞かせの時間に、「かさこじぞう」などの童話を読み聞かせる。
重点主題：自分のいのち				
6月	10. いのちのまつり 〔いのちのつながり〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎受け継がれ、受け渡していくという生命のつながりが分かり、生命を大切に生きていこうとする。 【理解、判断力】 自分の生命は、過去から受け継がれたものであり、未来に受け渡していくものであることが分かる。 【心情】 受け継がれ、受け渡していく生命に尊さや不思議さを感じる。 【実践意欲と態度】 受け継がれ、受け渡していく生命の重さを自覚し、生命を大切に生きていこうとする。	1 命のつながりについて考える。 2 「いのちのまつり」を読んで、命のつながりについて考える。 3 命のつながりについて、まとめる。	○道徳の授業 ・ 「いのちのまつり」を読んで、命のつながりについて考えさせる。 ○日常生活 ・ 自分の命のつながりについて調べ、考えたことをまとめさせる。 ○家庭 ・ 自分の生まれたときの話を家族などに聞いて、命がつながる際の思いについて考えさせる。
6月	11. いただきます 〔元気のもと〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 感謝	◎自分の生命と他の生命とのつながりが分かり、生命を大切に生きていこうとする。 【理解、判断力】 自分の生命は、他の生命のおかげで成り立っていることが分かる。 【心情】 他の生命のおかげで成り立っている自分の生命を、ありがたいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分の生命のありがたさを自覚し、生命を大切に生きていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「いただきます」というあいさつの意味について考え、ノートに書く。 2 「いただきます」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 自分の命と他の命との関わりについて考える。 ○P.50の問いかけを読み、「いただきます」の中にはどんな思いが込められているのかを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、わたしたちの「元気のもと」とは何かを、命のつながりに着目しながら考え、ノートにまとめる。	○日常生活 ・ 自分の命のつながりについて調べ、考えたことをまとめさせる。 ○道徳の学習 ・ 「いただきます」を読んで、自分の生命と他の生命との関わりについて考えさせる。 ○日常生活 ・ 自分の命が何に支えられているかについて考えたり、家族と話し合ったりして、まとめさせる。
7月	12. キツネおどり 〔ふるさとを大切に〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎郷土の伝統と文化を大切に、郷土の伝統行事に進んで参加しようとする心情を育む。 【理解、判断力】 郷土の伝統と文化が、現在でも伝えられていることが分かる。 【心情】 郷土の伝統と文化を大切に、守っていかうとする人々の心に共感する。 【実践意欲と態度】 郷土の伝統と文化を大切に、郷土の伝統行事に積極的に参加しようとする。	1 自分たちの住んでいる地域のよさについて話し合う。 2 「キツネおどり」を読んで、伝統や文化を守る大切さを考える。 3 自分たちの住む地域の様子について、改めて見直して話し合う。	○道徳の授業 ・ 「キツネおどり」を読んで、伝統や文化を守っていくことの大切さについて考えさせる。 ○社会科 ・ 郷土の学習や地域の文化財などの調査学習をさせる。 ・ 地域に残る文化財の特色や残っている理由について発表させる。 ○総合的な学習の時間 ・ 地域の行事の継承者不足や地域の活性化などを話題にし、子どもそれぞれが課題をもって地域の行事に参加する学習をさせる。 ・ 地域の行事を継承するために自分たちができることを考えさせる。
7月	13. うわさ話・つらい気持ち 〔じょうほうの正しさ〕 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】B 相互理解、寛容	◎いろいろな状況を踏まえて、自ら善悪を判断し、行動しようとする。 【理解、判断力】 いろいろな状況を踏まえ、深く考えることで、正しいことが判断できると分かる。 【心情】 ものごとをよく考えないで信じることで、相手も自分も嫌な気持ちや後で悔いる思いをすることに共感したか。 【実践意欲と態度】 いろいろな状況を踏まえて考え、自ら正しいことを判断し、行動しようとする。	1 「うわさ話」について考える。 2 「うわさ話・つらい気持ち」を読み、正しいことを判断するために大切なことを考える。 3 人の話やニュースを聞いたときに大切なことを話し合う。	○日常生活 ・ 朝の会で日直による一分間スピーチなどでニュースを取り上げ、お互いの感想を交流できる場を設ける。 ○道徳の授業 ・ 「うわさ話・つらい気持ち」を読んで、正しいことを判断するために大切なことを考えさせる。 ○学級活動 ・ ニュースを見たり聞いたりして、自分がどのように判断したかを交流させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	14. 世界一うつくしい体そうをめざして—内村航平— 〔特徴を特長に〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分自身の特徴に気づき、それを磨き上げて、光り輝く特長にしていこうとする。 【理解、判断力】 特徴を磨き上げることで光り輝く特長となることと、その磨き上げ方が分かる。 【心情】 光り輝く特長に磨き上げていこうとする心を、すばらしいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分自身の特徴を、光り輝く特長に磨き上げていこうとする。	1 自分の特徴は何か考える。 2 「世界一うつくしい体そうをめざして」を読み、特徴を特長として磨いていくことの大切さについて考える。 3 自分の特徴をこれからどうしていきたいかを考える。	○学級活動 ・「自分の特徴は何なのか」を考え、それを友達に紹介し合わせる。 ・自分の特徴や友達の特徴が、長所と短所の両方を持ち合わせていることを話し合わせ、多面的・多角的な見方を身につけさせると共に、相互理解を図らせる。 ○道徳の授業 ・「世界一うつくしい体そうをめざして—内村航平—」を読み、特徴と特長の関係性や特長として磨いていくことの大切さについて考えさせる。 ○日常生活 ・世界一になった人の本を探して、その人がどのようにして特徴を特長に磨いていったのか、考えながら読むよう促す。 ・読んだ本のあらすじや考えたことを、紹介し合わせる。
9月	15. ないた赤おに 〔本当の友だち〕 【主】B 友情、信頼 【関連】B 相互理解、寛容	◎友達のことを心から思いやり、自分にできることを精一杯しようとする。 【理解、判断力】 友達の願いをかなえたいと思う心や、友達のために精一杯行動しようとする心を、自分ももっていることが分かる。 【心情】 友達のことを心から思いやる心をもって、友達の願いをかなえようと精一杯尽くした人の心や行為に触れて、感動する。 【実践意欲と態度】 友達のことを心から思いやり、支え合って生活していこうとする。	1 赤おにと青おには友達なのだろうかという問いをもつ。 2 「ないた赤おに」を読んで、友達を思いやる心について話し合う。 3 友達のために精一杯行動した人は、他にいないか話し合う。 4 友達のために精一杯行動した人をもっと探そうという課題について話し合う。	○道徳の授業 ・「ないた赤おに」を読んで、友達を思いやる心について話し合わせる。 ○日常生活 ・友達のために精一杯行動した人について調べさせ、発表させる。
9月	16. 郷土かるた 〔自分たちのまちのよさ〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】D 自然愛護	◎自分たちの郷土のよさを知り、それを大切に守り、受け継いでいこうとする。 【理解、判断力】 自分たちの郷土には、大切に守り、受け継いできた伝統や文化・自然があることが分かる。 【心情】 郷土の伝統や文化・自然を守ろうと努力している人々の姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分たちの郷土のよさを守り、受け継いでいくために、自分にできることをしていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、自分の住むまちで大切にされているものは何かを考え、ノートに書く。 2 「郷土かるた」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 郷土のよさについて考える。 ◎P73の問いかけを読み、はるきさんには並んだ絵ふだが、今までとはどのように違って見えたのかを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、自分の住むまちの中で郷土かるたにしたい人・もの・ことを考え、ノートにまとめる。	○社会科 ・自分たちのまちのことを知るために、まち探検に出かけ、自分たちのまちのよいところを見つけさせる。 ○道徳の学習 ・「郷土かるた」を読み、自分の住んでいるまちのよさや、それを守ろうとする人々の思いについて話し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・郷土の伝統や文化・自然を話題にし、子どもそれぞれが課題をもって郷土のよさを守り、受け継いでいくための学習を仕組む。 ・郷土の伝統や文化・自然を守り、継承するためできることを考えさせる。 ・自分のまちの郷土かるたを作ってみる。

重点主題：きまりがあるわけ

9月	17. こまるのはだれ？ これでもいいのかな？ 〔きまりは何のため〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする。 【理解、判断力】 きまりをうまく働かせるためには、きまりの意味を考えながら守ることが大切だと分かる。 【心情】 きまりの意味を考えながら守ることで、気持ちよく生活できるよさを感じる。 【実践意欲と態度】 みんなが気持ちよく生活するために、きまりの意味を考え、きまりを守ろうとする。	1 きまりは何のためにあるのかという問いをもつ。 2 「こまるのはだれ？ これでもいいのかな？」を読み、きまりの意味やよさについて話し合う。 3 身の回りのきまりを探し、どうしていきたいか話し合う。	○特別活動 ・学級活動や学年行事において、自分たちできまりを決めさせ守らせながら行動する体験をさせる。 ・事後に体験について振り返らせ、問題点などを出し合うなど、反省の機会をつくらせる。 ○道徳の授業 ・「こまるのはだれ？ これでもいいのかな？」を読み、きまりの意味やよさについて話し合わせる。 ○日常生活 ・身の回りがあるきまりを探させ、それを守るよさを確認させ、ノートにまとめさせる。
10月	18. みんなで作ろう！ がっきゅうルールブック 〔きまりをまもるよさ〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする。 【理解、判断力】 安全、学習、友達関係、学校、心などのさまざまな視点から、きまりのよさを理解できる。 【心情】 きまりを守ることによって生まれる、安心、集中、思い切り、仲よく、楽しいなどの気持ちよさを感じる。 【実践意欲と態度】 身の回りのきまりのよさについて理解し、それらを守ろうとする。	1 身の回りのきまりのよさについて調べたことを紹介し合う。 2 「みんなで作ろう！ がっきゅうルールブック」を読んできまりを守るよさについて話し合う。 3 調べたきまりのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「みんなで作ろう！ がっきゅうルールブック」を読み、安全、学習、友達関係、学校、心などのさまざまな視点から、きまりのよさについて話し合わせる。 ○日常生活 ・自分の家や町のきまりを調べさせ、「わがや・わがまちのルールブック」としてまとめさせる。 ・ルールブックを友達と比べさせ、各々の家や町にあるさまざまなきまりと、そのよさについて話し合わせる。
10月	19. ぼくらは小さななかにはかせ 〔にがてをとくいに〕 【主】A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】B 友情、信頼	◎自分から進んで目標を立て、障害や困難を乗り越え、粘り強くやり遂げようとする。 【理解、判断力】 自分が決めた目標には、粘り強くやり遂げようとするエネルギーがあることに気づく。 【心情】 目標をやり遂げるため、できないことや分からないこと、苦手なことなどを自力で乗り越えようとする強い意志をもって取り組んでいる人の姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分の目標を決め、どのようなことがあっても、その目標に向かって努力しようとする。	1 「苦手」を「得意」に転換する方法について考える。 2 「ぼくらは小さななかにはかせ」を読み、努力することの大切さについて考える。 3 努力することのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「ぼくらは小さななかにはかせ」を読んで、努力のよさについて話し合わせる。 ○読書活動 ・「はかせ」になった人の伝記を探して読むよう促す。 ○日常生活 ・自分の目標を決め、ゴールへ向けての活動計画を立てさせる。 ・それらをカードに書き込み、いつでも見られるように掲示する。 ○総合的な学習の時間 ・自分の目標を決め、ゴールへ向けての活動を行い、定期的に振り返らせる。
10月	20. わたしだって 〔広い心で〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】A 正直、誠実	◎広い心を持ち、相手の失敗を許すことができる。 【理解、判断力】 失敗はだれにでもあるから、許す心も必要であることが分かる。 【心情】 お姉さんの他者に対する寛容な気持ちに共感する。 【実践意欲と態度】 寛容のよさについて理解し、進んで実践しようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、友達の失敗を許せなかったときのことを思い出し、ノートに書く。 2 「わたしだって」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 寛容な心について考える。 ◎P.89～90の問いかけを読み、ずっと黙ったままのけい子が考えていたことと、けい子に謝ったお姉さんの気持ちを考えて、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、相手の失敗を許せる心とはどんな心かを考えてノートにまとめる。	○道徳の学習 ・寛容な心について話し合わせる。 ○掃りの会 ・心が広い人を探させ、発表させる。 ・自分の失敗を許してもらったときに、心が軽くなったことを発表させる。 ○日常生活 ・失敗を許してもらった経験から、他者の失敗に対しても寛容な心をもって生活させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
10月	21. 花さき山 〔心のうつくしさ〕 【主】D 感動、畏敬の念 【関連】A 正直、誠実	◎人の心の美しさに感動し、自分の心も美しく輝かせようとする。 【理解、判断力】 他者が喜ぶ行為ができるのは、他者の喜びを自分の喜びとする心から発していることが分かる。 【心情】 他者の喜びを願う心から生まれる行為に心を動かす。 【実践意欲と態度】 他者の喜びを自分の喜びとする心を自分も持っていることを自覚して、心を美しく輝かせようとする。	1 心が美しいとはどういうことなのかを考える。 2 「花さき山」を読み、人の心の美しさについて話し合う。 3 授業で学んだことをまとめる。	○学級活動 ・日常生活における友達のよいところを見つけさせ、伝え合わせる。 ・教師自身も子どもの具体的なよかったできごとを見つけておき、道徳の授業に伝えられるようにしておく。 ○道徳の授業 ・「花さき山」を読み、人の心の美しさについて話し合わせる。 ○日常生活 ・日常生活の中で、花さき山に花を咲かせることができるよい行為を行った人を見つけさせ、紹介させる。 ・紹介されたらクラス内に花を飾るなど、意識づけができる環境のくふうをする。
11月	22. 思い切って言ったらどうなるの？ 〔どうすることが正しいか〕 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】B 友情、信頼	◎相手がだれであっても正しいと思ったことは、自信をもって実行していこうとする。 【理解、判断力】 自分が正しいと思ったことが実現できたら、明るい気持ちになると分かる。 【心情】 自分が正しいと思ったことを、強い心で相手に伝えることはすてきだと感じる。 【実践意欲と態度】 自分が正しいと思ったことは、自信をもって実行していこうとする。	1 正しいと思うことでも、できないときはどんなときか想起する。 2 「思い切って言ったらどうなるの？」を読み、正しいと思ったことを実行する大切さについて話し合う。 3 教師の説話を聞く。	○学級活動など ・正しいと思ったことでも、実現できないことについてアンケートを取っておく。 ○道徳の授業 ・「思い切って言ったらどうなるの？」を読んで、正しいと思ったことを実行する大切さについて話し合わせる。 ○読書活動など ・学級図書に伝記の本をそろえておき、子どもたちが進んで読めるようにしておく。 ・伝記の主人公がどんな判断をした人かを、紹介し合うコーナーをつくる。
11月	23. いちようの木をまもるために 〔学校をまもる人〕 【主】C よりよい学校生活、集団生活の充実 【関連】C 勤労、公共の精神	◎先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学校をつくろうとする。 【理解、判断力】 学校はいろいろな人々に支えられ、思い出や歴史などのよさが守られていることが分かる。 【心情】 学校がいろいろな人々に支えられ、思い出や歴史が守られていることに心を動かす。 【実践意欲と態度】 楽しい学校やクラスをつくるためにできることを探し行おうとする。	1 自分の学校のよいところについて話し合う。 2 「いちようの木をまもるために」を読み、楽しい学校をつくることのよさについて考える。 3 自分の学校で大切にしているものを探す。 4 校長先生の講話をきく。	○道徳の授業 ・「いちようの木をまもるために」を読み、楽しい学校をつくっていくことのよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・明るく楽しい学校やクラスをつくるために、自分たちにできることについて話し合わせる。 ・係活動や当番活動など、話し合っただけの決めたことを実行させる。 ・活動によって、学校やクラスが明るく楽しくなったところを紹介させる。 ○総合的な学習の時間 ・学校の校歌や校章の意味、込められた願いなどについて調べ、新聞などにまとめさせる。
11月	24. ぼく知らなかったよ 〔自分をささえてくれる人〕 【主】B 感謝 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎自分はいろいろな人に支えられていることを知り、それらの人々に尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。 【理解、判断力】 自分たちの生活を支えるために、たくさんの人々が幸せを願って働いていることが分かる。 【心情】 自分たちの生活を支えるために働いている、たくさんの人々の心や行動に感動する。 【実践意欲と態度】 自分たちを支えてくれている人々の心や行為に尊敬の念を抱き、感謝の心をもって生活していこうとする。	1 自分たちの生活を支えてくれている人について考え話し合う。 2 「ぼく知らなかったよ」を読み、感謝の心について話し合う。 3 井上さんのように自分たちの幸せを願って支えてくれている人がいないか話し合う。 4 今後の活動について話し合う。	○道徳の授業 ・「ぼく知らなかったよ」を読み、感謝の心について話し合わせる。 ○日常生活 ・自分たちの生活を支えてくれている人にインタビューし、仕事・思い・調べた感想をまとめ、発表させる。 ・自分たちの生活を支えてくれている人に感謝の思いを伝える手紙を書かせる。
11月	25. お母さん、なぜでねこむーちびまるちゃんー 〔かぞくへの思いやり〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする。 【理解、判断力】 両親や祖父母は、家族を支えるために頑張ってきたことが分かる。 【心情】 自分のことを大切に思う母の気持ちを知り心が動く。 【実践意欲と態度】 家族に感謝の心を持ち、自分にできることをしようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、自分の家族のすてきなどについて考え、ノートに書く。 2 「お母さん、なぜでねこむ」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 家族のよさについて考える。 ◎P.112・113の問いかけを読み、どうしてまるちゃん泣きながら眠ったのか、まるちゃんはお母さんのどんな思いに気づいたのかを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、自分の家族の素敵だと思うところとそう思うわけをノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「お母さん、なぜでねこむ」を読んで、家族のよさについて考えさせる。 ○特別活動 ・家族についての作文を書かせ、発表させる。 ○日常生活 ・家族の一員として、自分にできる仕事をするよう促す。 ○読書活動 ・家族の絆について書かれた本を読ませ、自分の家族について考えを深めさせる。
12月	26. 生きたれいぎ 〔生きたれいぎ〕 【主】B 礼儀 【関連】B 親切、思いやり	◎礼儀の大切さを知り、だれに対しても心を込めて接しようとする。 【理解、判断力】 礼儀は、単に目に見える動作のよさだけでなく、相手の人格を尊重しようとする心から発していることが大切であることに気づく。 【心情】 相手の人格を尊重しようとする心と形（作法や態度）が合わさったとき、人の心を温かくすることに共感する。 【実践意欲と態度】 相手に対して心を込めて礼儀を尽くそうとする意欲をもつ。	1 礼儀がなぜあるのかを考える。 2 「生きたれいぎ」を読み、れいぎのもつよさについて話し合う。 3 「生きたれいぎ」のよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「生きたれいぎ」を読んで、礼儀のもつよさについて話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会 ・「礼儀正しくしてよかったこと」や「身の回りで見つけた『生きたれいぎ』」などを探させ、朝の会・帰りの会などで発表させる。 ○家庭 ・「生きたれいぎ」を家族で読み合い、家族での礼儀について話し合わせる。 ・話し合ったことを道徳ノートに記述させ、後日学校で発表させる。
12月	27. 太郎のいどう教室 〔いつもきちんと〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎自分でできることは自分でやり、よく考えて節度のある生活をしようとする。 【理解、判断力】 快適な生活を送るためには、よく考えて節度のある行動をすることが大切だと気づく。 【心情】 よく考えて節度のある行動をすることに、よさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分でできることは自分でやり、節度のある生活をしようとする。	1 「いつもきちんと」という言葉について話し合う。 2 「太郎のいどう教室」を読んで、節度のある生活のよさを考える。 3 節度のあるよりよい生活の大切さをまとめる。	○日常生活 ・整理整頓を始める基本的な生活習慣を身につけることを意識させる。 ○道徳の授業 ・「太郎のいどう教室」を読んで、節度のある生活のよさを考える。 ○学級活動 ・自分の生活に生かせそうなことを実践させ、節度のある生活のよさについて発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
1月	28. おばあちゃんのおせち 〔おばあちゃんってすごい〕 【主】B 感謝 【関連】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎自分たちは、高齢者に支えられて生活していることを知り、高齢者に対して尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。 【理解、判断力】 高齢者は、長い人生を過ごして豊かな経験に基づく知恵をもっていることが分かる。 【心情】 現在の生活の礎を築いた、高齢者の思いや行動に感動する。 【実践意欲と態度】 高齢者の生き方や知恵に対して、尊敬の念を抱き、感謝の心をもって生活していこうとする。	1 自分たちは、日ごろどんな人にお世話になっているかについて考える。 2 「おばあちゃんのおせち」を読み、自分たちの生活を支えてくれている人への感謝の心について話し合う。 3 自分たちの生活を支えてくれている高齢者について話し合う。	○道徳の授業 ・「おばあちゃんのおせち」を読み、自分たちの生活を支えてくれている人への感謝の心について話し合わせる。 ○学級活動 ・自分たちの生活を支えてくれている高齢者の思いを調べ、感想をまとめ、発表させる。 ・自分たちの生活を支えてくれている高齢者に感謝の思いを伝える手紙を書かせる。
重点主題：自分の力 みんなの力				
1月	29. 四人五きやく 〔みんなで力を合わせて〕 【主】C よりよい学校生活、 集団生活の充実 【関連】B 友情、信頼	◎皆で協力し合い楽しいクラスをつくっていこうとする。 【理解、判断力】 楽しいクラスをつくっていくためには、クラスに関わるいろいろな人々の協力や支えが必要であることが分かる。 【心情】 互いに思いやり、協力し合い、楽しいクラスをつくっていこうとする思いに共感する。 【実践意欲と態度】 楽しいクラスをつくるために自分たちにできることを考え、行動しようとする。	1 友達と力を合わせるの意味について話し合う。 2 「四人五きやく」を読み、協力し合って楽しいクラスをつくっていくことの大切さについて考える。 3 大きな力を発揮するために必要な気持ちについて話し合う。	○道徳の授業 ・「四人五きやく」を読んで、クラスに関わるいろいろな人々が協力し合って楽しいクラスをつくっていくことの大切さについて考えさせる。 ○特別活動 ・行事などで、友達やクラスの仲間と力を合わせた経験を、ノートに記録させる。 ・協力や支え合いという観点から自分たちのクラスのよさや問題点を出し合わせる。 ・自分たちのクラスが協力し、楽しくなるためにできることを話し合わせ、実践できる計画を立てさせる。
2月	30. きょうりよくクラス 〔クラスのまとまりパワー〕 【主】B 友情、信頼 【関連】C よりよい学校生活、 集団生活の充実	◎友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする。 【理解、判断力】 相手の気持ちを考え、理解し合っていくうちに友情が深まっていくことが分かる。 【心情】 相手の気持ちを考え、互いに支え合い、ものごとを成し遂げることのよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 信頼関係をつくり、助け合うために自分たちにできることを考え、行動しようとする。	1 クラスがまとまることによって生まれる力について考える。 2 「きょうりよくクラス」を読み、友達と信頼し、助け合うことの大切さについて話し合う。 3 一人ひとりの力がまとまった結果、できることについて話し合う。	○道徳の授業 ・「きょうりよくクラス」を読んで、友達と互いに理解し、信頼関係をつくり、助け合おうとすることの大切さについて考えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・友達と助け合い、協力して「まとまりパワー」が生まれたときを思い出して記録させ、助け合い、協力しながらクラスをつくっていくよさについて発表させる。 ○特別活動など ・助け合いという観点から友達のよさや友達の大切さを話し合わせる。 ・自分たちのクラスが助け合い、まとまることでできることを話し合わせ、実践できる計画を立てさせる。
2月	31. やくそくだもん 〔やくそくをまもる〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 希望と勇気、 努力と強い意志	◎約束の意義が分かり、それを守って生活していこうとする。 【理解、判断力】 約束を守るとすっきりしたよい気持ちになることや、よりよい人間関係をつくることのできる事が分かる。 【心情】 約束を守ることによって生まれるすっきりした気持ちや、人間関係のよさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 約束の意義が分かり、これからも約束を守ろうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、どうして約束を守ることが大切なのかを考え、ノートに書く。 2 「やくそくだもん」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 約束を守ることについて考える。 ◎P.136・139の問いかけを読み、高志と約束したときの宏人の気持ちと、お楽しみ会が成功したのはなぜかを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、約束を守るとどんなよいことがあるかノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「やくそくだもん」を読んで約束を守ることについて話し合わせる。 ○学級活動 ・友達との約束だけでなく、教室や学校のみんなで約束したことも守ることができているかを話し合わせる。 ○読書活動 ・約束を守った人の伝記や物語を探して読ませ、クラスで紹介させる。
2月	32. お日さまの心で 〔だれとでもなかよくするために〕 【主】C 公正、公平、 社会正義 【関連】A 善悪の判断、 自律、自由と責任	◎だれに対しても分け隔てをせず、公正、公平に接しようとする。 【理解、判断力】 だれとでも仲よくするためには、時と場と相手を考えて公平に接しようとする心と行動が大切であると分かる。 【心情】 だれとでも仲よくするために、時と場と相手を考えて公平に接しようとする心と行動のよさに共感する。 【実践意欲と態度】 だれとでも仲よくするために、時と場と相手を考えて公平に接していこうとする。	1 だれとでも仲よくするために大切なことは何かについて考える。 2 「お日さまの心で」を読み、だれとでも仲よくするために大切なことについて考え合う。 3 「お日さまの心」と、そのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「お日さまの心で」を読み、だれとでも仲よくするために大切なことは何かを考えさせる。 ○日常生活 ・「お日さまの心」でしている活動や、その心で過ごしている人を探させる。 ○家庭 ・公正・公平について家族で話し合わせる。 ○学級活動 ・「お日さまの心」でしている活動や、見つけた人、公平・公正について家族で話し合ったことを紹介させる。
2月	33. 赤い灯 ゆれる 〔友だちのすばらしさ〕 【主】B 友情、信頼 【関連】B 親切、思いやり	◎友達を互いに理解し、信頼し、助け合う。 【理解、判断力】 友達の心を理解し、友達のために自分ができることを精一杯に行おうとする心の大切さが分かる。 【心情】 友達の心を理解し、自分ができることを精一杯に行う姿に感動する。 【実践意欲と態度】 友達どうして思いを理解し、助け合っているかという意欲をもつことができる。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、友達っていいなと思った経験について振り返り、ノートに書く。 2 「赤い灯 ゆれる」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 友達のよさについて考える。 ◎P.147の問いかけを読み、3人がどうして「よい友だち」なのかを考えてノートに書く。 4 「まとめる」を読み、友達のよさについて考えたことをノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「赤い灯 ゆれる」を読んで、友達のよさについて考える。 ○学級活動 ・友達の心を理解し、自分ができることを精一杯に行おうとしている友達について調べ、発表させる。
3月	34. うみねことたんぼぼ 〔生きる力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】D 自然愛護	◎生命のもつ力強い生きる力が分かり、自らもその力を発揮し、一生懸命生きていこうとする。 【理解、判断力】 生命には、困難や逆境にも負けない、力強い生きる力があることが分かる。 【心情】 生命のもつ生きる力に感動する。 【実践意欲と態度】 生きる力を発揮して、一生懸命生きていこうとする。	1 「生きる力」について考える。 2 「うみねことたんぼぼ」を読み、生きる力について話し合う。 3 人間の「生きる力」について考える。 4 「生きる力」について、自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「うみねことたんぼぼ」を読んで、生命のもつ「生きる力」について考えさせる。 ○学級活動 ・自分のもっている「生きる力」やそのすばらしさを調べさせ、発表させる。 ○家庭 ・自分が生まれてから今までの成長について家の人と話し合わせ、「生きる力」について考えさせる。 ○読書活動 ・生命の力強さや不思議さに関する本を読ませ、「生きる力」について考えさせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
3月	35. 海をわたるランドセル 〔ほかの国のことを考える〕 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】C 勤労、公共の精神	◎他国の人々の生活や文化を理解し、大切にしていこうとする。 【理解、判断力】 他国の人々の生活や文化を、自分たちとの共通点や相違点を見いだして理解する。 【心情】 他国の人々が自分たちと同じようにその生活や文化を大切にしていることに心が動く。 【実践意欲と態度】 他国の人々の生活や文化の大切さを理解したうえで、自分にできることをしていこうとする。	1 教材の題名から内容を想像する。 2 「海をわたるランドセル」を読み、国際理解と国際親善の大切さについて考える。 3 世界の国々に住む子どもたちの生活について、考えたことをまとめる。	○外国語活動・総合的な学習の時間 ・他国の文化を紹介する活動を設定したり、国際的なイベントを取り上げたりして、日本と他国との関わりを意識させる機会をもつ。 ○道徳の授業 ・「海をわたるランドセル」を読んで、国際理解や国際親善の大切さについて考えさせる。 ○社会科・総合的な学習の時間 ・日本と他国のつながりについて調べて発表する。 ・他国の人との交流活動を設定する。
付録	36. 台風の日 〔あんぜんのために〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎安全についてよく考えて行動しようとする。 【理解、判断力】 安全に生活するためには、心のゆるみに気をつけ、よく考えて行動することが大切であることを理解する。 【心情】 自然災害などの危険性を安易に捉えず、よく考えて行動したときのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 安全のためよく考えて行動し、より安全な生活をしようとする。	1 身の回りがある生活上の危険から身を守る方法について話し合う。 2 「台風の日」を読んで、よく考えて行動し、安全に気をつけて生活することについて話し合う。 3 身の回りに潜む危険について、これから気をつけたいことを話し合う。	○道徳の授業 ・「台風の日」を読んで、よく考えて行動し、安全に気をつけて生活することについて考えさせる。 ○家庭 ・災害が起きたときのために、どのような準備をしているか家族で話し合う。 ○日常生活 ・身の回りの危険を予測し、安全に気をつけて生活するよう促す。
付録	37. おばあちゃんのコースター 〔心がとどくとき〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎相手のことを思いやって、進んで親切にしようとする。 【理解、判断力】 親切な行いは自分も相手も気持ちよくなるのが分かる。 【心情】 相手の気持ちを考え、親切にしようとする人々の心に共感する。 【実践意欲と態度】 自分の周りの人々に対して、思いやりの心をもって親切にしよう心がける。	1 自分の心を伝えることについて話し合う。 2 「おばあちゃんのコースター」を読み、相手の気持ちを考え、進んで親切にすることの大切さについて考える。 3 「けんたがもっていたはずきさんに対する心」について話し合う。	○日常生活 ・友達に親切にできた経験、親切にしようと思ってもできなかった経験を記録させる。 ○道徳の授業 ・「おばあちゃんのコースター」を読んで、相手の気持ちを考え、進んで親切にすることの大切さについて考えさせる。 ○日常生活 ・相手の気持ちを考えた思いやりの心をもつことで、自分にどのようなことができるか考えさせ、実践を促す。 ○総合的な学習の時間 ・地域の福祉施設の訪問を計画し、お年寄りと交流する学習を設定する。 ・お年寄りを喜ばせるために自分たちができることを考えさせる。
付録	38. こまったときは、おたがいさま 〔日本人の心〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】B 親切、思いやり	◎日本人が受け継いできた、日本人の心が分かり、それを大切にしていこうとする。 【理解、判断力】 日本人が受け継いできた日本人の心には、困っている人の思いが分かり、自分のことのように受け止め、相手の立場に立つ、思いやりの心があることが分かる。 【心情】 日本人の心のすばらしさに対し、心が動く。 【実践意欲と態度】 日本人の心を大切にし、生きていこうとする。	1 日本人のよさについて考える。 2 「こまったときは、おたがいさま」を読み、日本人のよさや日本人の心について考える。 3 日本人のよさについて考える。	○道徳の授業 ・「こまったときは、おたがいさま」を読んで、日本人のよさや日本人の心について考えさせる。 ○日常生活 ・「日本人のよいところ」はどこなのかを、ニュースなどで探させる。 ○地域 ・日本人の心を感じることができる行事などに参加させる。 ○音楽科 ・日本人の心を感じることができる歌を歌い、日本人の心のよさを感じさせる。 ○社会科 ・昔から続く祭りや伝統行事に込められた日本人の願いを調べて、まとめさせる。
付録	39. 命どうたから 〔命どうたから〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎どの命も一つだけで、一度失われたら二度と戻らないということや、命がなくなると悲しむ人を知り、家族の大切な存在である自分の命を大切に輝かせようとする。 【理解、判断力】 生きたくても生きられなかった命があることを知ると、自分や相手の命を大切にしようとする心があることが分かる。 【心情】 命がなくなっても、いつまでもその人のことを大切に思い続けている家族の心に感動する。 【実践意欲と態度】 「命どうたから」の意味について考え、自分の命を輝かせようとする。	1 「命の大切さ」について考える。 2 「命どうたから」を読み、命の大切さについて話し合う。 3 「命どうたから」について、自分の考えをまとめる。	○道徳の授業 ・「命どうたから」を読んで、「命の大切さ」について考えさせる。 ○日常生活 ・「命どうたから」と同じような意味の言葉を調べさせ、「命の大切さ」についてさらに考えさせる。 ○家庭 ・家族と「命の大切さ」について話し合わせ、「命を大切に生きる生き方」について考えさせる。
付録	40. ヨシノボリ 〔生きもののふしぎ〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 生命の尊さ	◎自然に生きる動物の不思議さを知り、自然や動植物を大切にしようとする。 【理解、判断力】 自然に生きる動物の不思議さについて知れば知るほど、大切にしていきたいと思う心が生まれることが分かる。 【心情】 自然に生きる動物を大切に思う心に共感する。 【実践意欲と態度】 自然に生きる動物や自然環境を大切にしようとする意欲をもつ。	1 川にすむ魚について知っていることを話し合う。 2 「ヨシノボリ」を読み、自然に生きる動物の不思議さについて考える。 3 自然の生き物からのメッセージを考える。	○道徳の授業 ・「ヨシノボリ」を読んで自然に生きる動物の不思議さについて考えさせる。 ○理科 ・昆虫について学習し、飼育活動を通して動物愛護の意識づけができるよう、くふうする。 ○読書活動 ・植物や動物の不思議な生態や能力について調べさせる。 ○日常生活 ・身近な動物や植物に興味をもち、大切にしよう促す。